

<p>伊勢茶</p> <p>○伊勢茶コーナー扉絵</p> <p>○度会町空撮</p> <p>○伊勢茶畑空撮</p>	<p>07.14</p> <p>07.20</p>	<p>N 三重県の名産品といえば、伊勢茶を忘れてはいけません。</p> <p>N 度会郡度会町。</p> <p>(わたらいぐんわたらいちよう) ここは古くから町のあちこちに茶畑が広がる伊勢茶の産地。</p>
<p>○収穫作業が行われている茶畑の様子</p> <p>○伊勢緑茶加工センター 有限会社 代表取締役社長 中西 亘</p>	<p>07.30</p> <p>07.38</p>	<p>N 訪れたのは、初秋のある日。 4番茶の収穫が行われていました。</p> <p>N こちらの中西さんは、度会のお茶文化を受け継ぎ、守って行くために、伊勢緑茶加工センターを立ち上げ、日々奮闘しています。</p>
<p>○お茶の収穫作業の様子</p> <p>○中西さんインタビュー</p> <p>○収穫風景をインサート</p>	<p>07.52</p>	<p>N 度会町の伊勢茶には、3番茶がありません。</p> <p>これは、かつて兼業のお茶農家が多かったため、他の作物の収穫時期となる晩夏から初秋の期間にお茶の収穫を行わなかったためだと言います。</p> <p>「やっぱり自然の中に茶畑がある。朝も工場の方に向いてくるときに、朝霧がかかっている時は、あゝ茶畑っていいなあって感じがすごいですね。大好きです。4番茶の方が柔らかく美味しく感じますね。あゝ度会の茶は美味しいなあって言ってもらえることが出来ると思います。」</p>

<p>○伊勢緑茶加工センター 内の加工シーン</p> <p>○JA 亀田氏インタビュー</p> <p>○お茶畑収穫風景</p> <p>○お茶の商品カット</p>	<p>08:34</p> <p>09:38</p>	<p>N 今では、高齢化や作業負担からお茶の栽培を辞める農家が増えてしまいました。</p> <p>そこで、「こちらの加工センターでは、畑の管理から栽培、そして加工・出荷までを一手に引き受け、担い手の確保や、度会のお茶のブランディングなど、お茶文化を絶やさないための活動を行っています。」</p> <p>「やっぱりこの度会の基幹産業と言ったらお茶なんですね。僕らが子供の頃っていうのは、だいたい兼業でお茶に携わっている農家っていうのはもつとありました。ものすごく寂しいですね。お茶作りも一つ農業という部分もありますけど、やはり文化な訳ですから、お茶に携わっていたり方っていうのを徐々にですけれども増やして、それであこの度会町のお茶を守っていく」と</p> <p>N 農業、という枠を超えた、文化としての、お茶畑の「美し(うまし)」「風景がここにあります。」</p>
--	---------------------------	---